

西宮市立中央病院の経営状況について

西宮市立中央病院の経営状況について、平成16年度西宮市立中央病院事業会計の収支見込みを中心にお知らせします。

西宮市立中央病院は、地方公営企業法などに基づいて運営されており、病院事業によって得た収益によって賄うことを原則とされています。ただし、救急医療に要する経費など、市の政策上一定必要な経費については、西宮市から補助金が繰り出されて運営されています。

収支状況

平成16年度の経営につきましては、給与費や経費などの削減に努めましたが、入院および外来患者数ともに減少が続いたため支出総額から収入総額を差し引いた約2億円の純損失が見込まれます。昨年度の約3億4千万円の純損失に比べ、やや改善されてはいますが、繰越欠損金は63億円にもなり、大変厳しい財政状況にあります。

今後の対策

このような中で病院事業会計の収支改善を図るため、平成15年度から3力年にわたる「経営健全化計画」を定めて取り組みを進めてきました。が、病院間の競争激化等により患者数の減少が依然続いています。この

平成16年度西宮市立中央病院事業会計 決算見込

収入 59.4億円		その他 0.9億円		純損失 2.0億円
入院収益 26.5億円	外来収益 21.7億円	一般会計補助金 6.1億円	その他 医療収益 4.2億円	
支出 61.4億円				
給与費 33.3億円	材料費 15.4億円	経費 8.5億円	その他 4.2億円	

ため健全化計画の追加策として、今の少子化に伴い、他の病棟に比べて病床利用率の低下が課題となつていた6階病棟(小児科・産婦人科)について、平成17年4月から95床から60床に再編統合し、有効利用を図るとともに、職員数の適正化に努め、平成20年までの4年間で、約4億円の人件費の削減を計画しています。

市民健康講座を開催

西宮市立中央病院では、病気に對する診断と治療法について、同病院の専門医師がわかりやすく解説し、悩みに答える「西宮市市民健康講座」を、おおむね2か月に1回開催しています。

多くの方にご参加いただけるよう土曜日の午後を利用し実施していますが、毎回多数の参加者があり好評です。お悩みの方、興味のある方はぜひご参加ください。参加費無料。事前申込不要。

【会場】市役所東館8階大ホール
(市役所前公共駐車場最上階)

【問合せ先】医事課(0798・64・1515)

今後の開催予定

開催時期	テーマ
17年9月末	大腸がんなど
17年11月末	乳がんなど
18年1月末	肺がんなど
18年3月末	胆石症など

詳しくは市政ニュースでお知らせしますが、開催時期・テーマについては変更になる場合があります。



「いいお産、楽しい育児」をめざして

母子保健センターの紹介
当院の母子保健センターでは、「いいお産・楽しい育児」をめざして、妊産婦の皆様のサポートを医療チームで行っています。

【活動内容】

- * 妊娠中から育児までの心配事・悩みの相談
- * 妊娠経過にあわせた個別指導
- * 分娩予約・夫立会分娩の受け入れ
- * 臍帯血バンク受付
- * 両親学級
- * パパと育児を考える会
- * 沐浴講習会
- * プレママ会(妊婦の方向士の交流の場)
- * 産後の電話訪問
- * 赤ちゃんの身体測定・哺乳量測定
- * 産後のおっぱいトラブルへの対応
- * 赤ちゃん1ヶ月検診



ボランティア活動

中央病院では、現在、約40名のボランティアの方が交代で活動しておられます。



病院玄関において、院内案内、歩行や車いすの介添えを行い、皆様に安心してご利用いただけますようお手伝いしています。
ボランティア室では、ガーゼや綿花を使って医療材料を作り滅菌前のパッケージ詰めをしています。介護用品・設備品のカバーや書類運搬用の布カバンづくり、簡単な事務作業も行っています。
小児のための点滴用着

は、タオル地で作り、便利で着やすいと好評です。

また、ロビーや廊下の整理整頓を行い、療養環境を整え、屋上では、植木の手入れをし、季節の花を植え、患者様やご家族にくつろいでいただける場所としています。

